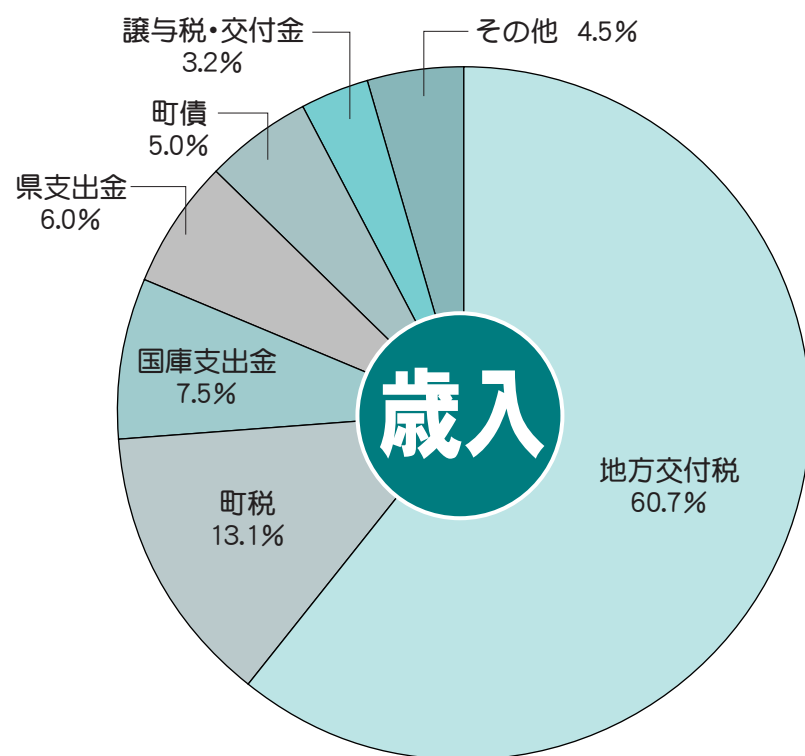


一般会計予算48億 5,200万円 (対前年比 2.1%増)

平成26年度

予算と主要事業

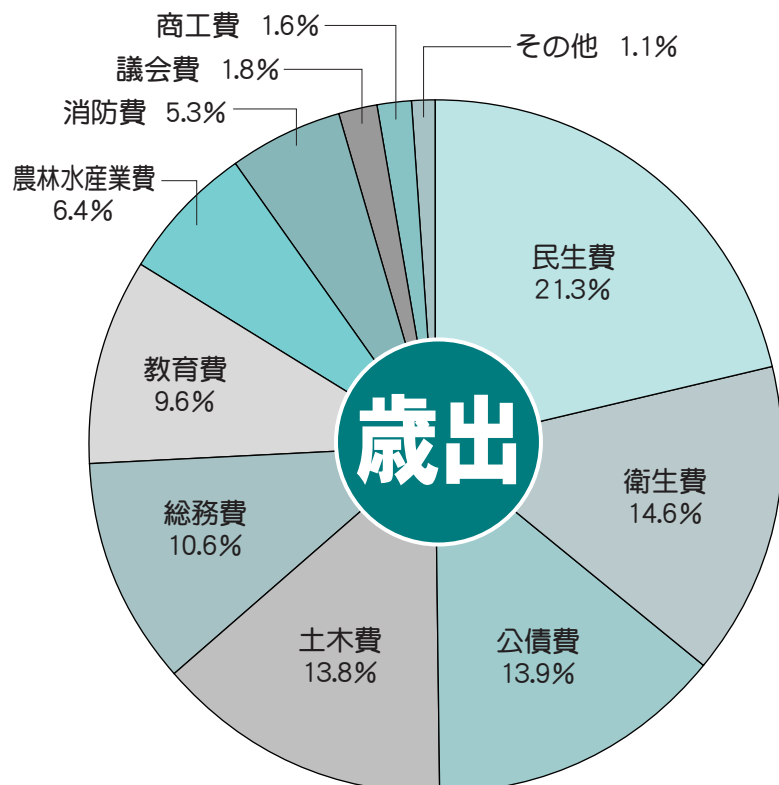
平成26年度当初予算は、一般会計と各種会計を合わせた総額を82億7,900万円としました。そのうち一般会計は48億5,200万円です。前年度比2.1%の増となりました。当町の目指す将来像「人が輝き 町が輝き 未来が輝く まむろ川」の実現に向けて、第5次真室川町総合計画の基本目標をより効果的に推進するとともに、国や県の景気・雇用対策と連動した社会資本整備、産業振興や防災・減災対策などに最大限配分した施策を予算化しました。



地方交付税	国税五税（所得税・法人税・酒税・消費税・たばこ税）の一部から配分されるお金	29億4,620万円
町税	町民税・固定資産税など皆さんが納める税金	6億3,690万円
国庫支出金	国の補助事業などに伴う財源	3億6,287万円
県支出金	県の補助事業などに伴う財源	2億8,983万円
町債	町が事業を実施するために国等から借りるお金	2億4,110万円
譲与税・交付金	国・県が徴収した税等から配分されるお金	1億5,575万円
その他	分担金・使用料・繰越金など	2億1,935万円



クロスカントリースキー振興事業では、全国中学校スキー大会に向けた強化策が行われる



民生費	高齢者、障がい者、児童福祉等に要する経費	10億3,487万円
衛生費	ごみ処理、保健衛生等の経費	7億 764万円
公債費	国や金融機関から借りたお金の返済費用	6億7,281万円
土木費	道路、河川、橋梁、公園、住宅等の整備に要する経費	6億6,837万円
総務費	財産管理、戸籍、徴税、選挙、電算運営等に要する経費	5億1,551万円
教育費	学校教育・社会学習の振興等に要する経費	4億6,546万円
農林水産業費	農林水産業の振興に要する経費	3億1,221万円
消防費	消防活動、災害対策等に要する経費	2億5,665万円
議会費	議会の活動に要する経費	8,502万円
商工費	町の観光振興や交流施設の管理等に要する経費	7,978万円
その他	労働費、災害復旧費など	5,368万円

町民一人当たりの町税(町民税+固定資産税)

平成26年度 64,331円

※人口は、平成26年4月1日のデータを使用

予算編成の概要

歳入について、町税は決算見込額をベースに、たばこ税の県と町との配分率変更も加味しながら、全体で対前年度比(以下同じ)4.2%増の6億3,690万円を見込み、地方交付税は普通交付税を全国ベースでの減額率と町債償還額や制度改正を勘案し、0.4%減の26億4,620万円

特別交付税は近年の交付実績をもとに3億円を計上し、総額で1.0%増の29億4,620万円となっています。なお、消費税率の引き上げに伴い、適正な消費税の転嫁の観点から各施設使用料等の改正を4月から行っています。

歳出について、町債の償還金にあたる公債費はこれまでの発行額の抑制や繰上償還の効果により、大幅な削減で6億7,281万円となり、平成10年度以来の6億円台となっています。新年度では、橋りょうの長寿命化を含む町道整備事業、指定避難所である地区分館の耐震化等の継続事業に加え、3地区のほ場整備事業の測量設計、付加価値の高い良食味米の生産奨励、町を代表する競技スポーツのクロスカントリースキー振興を目的とした補助等の新規事業

に取り組みます。また、その他の継続事業においても、効果を点検・評価し、事業内容の改正、拡充により施策の充実を図ることで、真室川町総合計画における次の6項目からなる基本目標の実現に向けた施策をバランスよく実行することを基本に予算編成したところです。

総合計画 基本目標

- いきいきと働き個性を創るまちづくり
- 健康と福祉のまちづくり
- 心豊かな人と文化を育むまちづくり
- 快適で安心できるまちづくり
- ひと・もの・ところが交流するまちづくり
- 健全財政のまちづくり